

宮崎病院

基本理念 <思いやりのある心で満足される医療をめざします>

【病院紹介】

当院は昭和22年4月1日旧陸軍落下傘部隊兵舎跡に創設された国立唐瀬原病院を併合し、国立宮崎療養所として現在地に開設しました。昭和43年から重症心身障害児（者）の療育を担うこととなり、昭和49年4月1日に国立療養所宮崎病院と改称しました。平成16年4月1日に国立病院・療養所の独立行政法人化により、国立病院機構が設立されたことに伴い、国立病院機構宮崎病院となり現在に至っています。

当院の所在する川南町（人口約15,000人）は宮崎市と延岡市の中間にあり、農業を主産業とし、東には日向灘、北西には尾鈴山を配し、気候は温暖で自然環境に恵まれた地にあります。病院に隣接した川南湿原植物群落は、国の天然記念物に指定されており、290種以上の植物が確認されています。

運用病床180床の小規模病院で薬剤師3名、薬剤助手1名ながら平成24年6月に病棟薬剤業務実施加算を取得しております。

【施設概要】2023.7.1（データは2022年度実績）

- 所在地 〒889-1301 宮崎県児湯郡川南町大字川南 19403-4
- 特徴 重症心身障害児（者）通所施設、第2次救急医療施設
- 診療科 12診療科
【内科系】内科、糖尿病・代謝内科、循環器内科、脳神経内科、呼吸器内科、
消化器内科、小児科、神経小児科
【外科系】整形外科
【外科系・内科系以外】リハビリテーション科、放射線科、麻酔科
- 病床数 180床（一般60床、重症心身障害児（者）120床）
- 薬剤師数（定数：3名）
薬剤科長1名、主任1名、薬剤師1名、助手1名
- 主な業務 (ア)調剤 入院 12,792枚/年、外来 252枚/年(院外処方率 98.1%)
(イ)注射 入院 5,709枚/年、外来 1,485枚/年
(ウ)薬剤管理指導件数 1,388件/年(116件/月)
(エ)病棟薬剤業務 2540件/年(212件/月)
(オ)チーム活動 ICT(感染対策防止加算3、地域連携加算)、
褥瘡対策チーム、摂食機能評価チーム、糖尿病教室
- 取り組み 後発医薬品への変更 数量ベースでR3年度 93.1%、R4年度 97.7%

8. システム・設備

項目	有・無
電子カルテ	×
自動錠剤分包機	○
散剤監査システム	○
水剤監査システム	×
散剤分包機	○
安全キャビネット	×
クリーンベンチ	×

【病院目標】

1. 良質で安全な医療の提供
2. 政策医療の推進
3. 医療連携の推進
4. チーム医療の推進
5. 健全経営

【薬剤科目標】

1. チーム医療への積極的な関与
 - 1) ICTチームへの貢献（抗菌薬の適正使用）
 - 2) 病棟カンファレンスへの積極的な関与
2. 薬剤師の職能向上
 - 1) 各種研修会への参加（学会発表など）
3. 医療安全への取り組み
 - 1) 医薬品に関連したヒヤリハットの削減
 - 2) プレアボイド報告の推進
4. 薬剤管理指導の推進
 - 1) 入院初日の患者指導の推進
 - 2) 退院時薬剤管理指導の実施率向上
5. 医薬品の適正管理
 - 1) 後発医薬品の使用促進